

# 公益財団法人 地域創造基金さなぶり 「岩手・宮城両県の社会的孤立防止支援事業」

## 採択団体一覧

全9団体・順不同（2020年12月7日現在）

| 地域    | 団体名                         | 申請事業名                                   | 事業概略・採択理由 |  | 助成予定額      | 内訳<br>上：管理的経費<br>下：直接事業費 |
|-------|-----------------------------|---|-----------|--|------------|--------------------------|
| 1 岩手県 | 特定非営利活動法人<br>フードバンク岩手       | フードバンク岩手<br>広域食のセーフティネット                | 事業概略      | 岩手県内の児童扶養手当を受給している世帯に限定した食料支援および見守り支援を、対象地域の地元自治体や社会福祉協議会等と連携して行い、コロナ禍の困窮と孤立を防止する事業。支援食材の安定確保のため、宮城県仙台市に拠点を新たに開設し、岩手・宮城地域のフードバンク事業への食糧供給増を目指す。   | ¥8,200,000 | ¥0                       |
|       |                             |   | 採択理由      | コロナ禍で特に困窮し、支援を必要とする子育て中の家庭に的を絞った事業であり、広範に行政等の地域社会福祉資源との結びつけを図る形で計画されている点は特に評価されました。岩手・宮城地域を含むほかのフードバンク事業への支援も含め、食品製造企業の物流拠点が集まる仙台に連携拠点をもうけ、企業連携の下で支援食糧の増加と安定を図る事業としても高く評価されました。                |            | ¥8,200,000               |
| 2 岩手県 | 特定非営利活動法人<br>まんまるママいわて      | いのちを取り巻く不安に<br>寄り添う相談事業                 | 事業概略      | コロナ禍で、出産に関わる不安を抱える妊産婦とその家族が、安心して利用できる専門相談機関として、助産師による広範な相談事業を岩手県内で展開。また、望まない妊娠やその不安に直面する女性への相談・支援、及び里帰り出産をする妊産婦への相談・支援を行う。   | ¥7,500,000 | ¥6,006,900               |
|       |                             |   | 採択理由      | 妊産婦の心身の負担の高まりと「産後うつ」に至る心理的な負担の増加は緊急を要する課題であり、里帰り出産なども多い地域性を踏まえ、居住地によらない支援の実現にむけた民間ならではの支援、また10代～20代の女性むけの相談事業の実施などが高く評価されました。民間資金を活用することで、感染予防の取り組みをしつつ、柔軟な相談・活動の展開を目指す事が地域状況に即した支援事業と評価されました。 |            | ¥1,493,100               |
| 3 宮城県 | 特定非営利活動法人<br>WorldOpenHeart | 新型コロナウイルス感染者と<br>その家族に対する差別への<br>相談支援事業 | 事業概略      | 新型コロナウイルスの罹患者及びその家族が、SNSや地元コミュニティ等から過剰なバッシングを受け、離職や転居を強いられるようなケースに対する相談・支援を岩手県・宮城県で実施。必要に応じて弁護士を通じた法的支援を合わせ、課題提起と啓発、政策提言を行う。   | ¥1,300,000 | ¥1,150,000               |
|       |                             |   | 採択理由      | 新型コロナウイルスに罹患した個人への過剰なる誹謗中傷や SNS 等による暴露等、公的支援や相談から漏れてしまう問題を拾っており、実績・専門性の面でも十分に必要な知見を有しており、特に罹患者家族への支援を含む視点が評価されました。   |            | ¥150,000                 |
| 4 宮城県 | 公益財団法人<br>共生地域創造財団          | 居住確保からの<br>生活再建相談支援                     | 事業概略      | 困窮者支援の理念の下、住居を喪失した多様な背景をもった個人に対し、住居、食事、見守り+就労支援の機会を宮城県石巻市で提供し、コロナ禍の孤立と極度の困窮状況の回避を目指す。  | ¥9,200,000 | ¥8,943,200               |
|       |                             |   | 採択理由      | 石巻地区に根付いた事業を行っており、地域の困窮者支援、事業所の動向等、様々な状況を把握した上で、コロナ禍の緊急支援として必要な住居支援、並びに入居者への支援と就労支援にいたる包括的な支援への取り組みは緊急を要する課題であると指摘されました。同時に、不動産業者、地場産業の関係者、食堂等の地元関係者との連携と共に行われる体制づくりについても高く評価されました。            |            | ¥256,800                 |

|   |     |                        |                         |          |   |            |            |
|---|-----|------------------------|-------------------------|----------|---|------------|------------|
| 5 | 宮城県 | 一般社団法人<br>イシノマキ・ファーム   | 地域の暮らしの住まいと<br>生活支援相談事業 | 事業<br>概略 | ソーシャルファームの理念の下、空き家や団体管理の農地を活用しながら、住居を喪失した多様な背景をもった個人に対し、住居・食事・見守り+就労支援の機会を宮城県石巻市で提供する。コロナ禍の孤立と極度の困窮状況の回避を目指す。   | ¥3,900,000 | ¥3,900,000 |
|   |     |                        |                         | 採択<br>理由 | 農業と福祉の連携にかかる知見をもち実践活動を続けてきており、コロナ禍のなかで活動地域においてこれまで培ってきた豊かな関係性と資源を活かし、団体の特色を生かした事業である点が重要であるという指摘がありました。農業にかかわる就労支援の機会もあり、感染予防という観点からも業務の敷居が低いながらも心身の健康にも寄与できるなどの点も高く評価されました。          |            |            |
| 6 | 宮城県 | 特定非営利活動法人<br>ワンファミリー仙台 | ハウジングファースト事業            | 事業<br>概略 | 困窮者支援の理念の下、住居を喪失した多様な背景をもった個人に対し、住居・食事・見守り+就労相談の機会を宮城県仙台市で提供し、コロナ禍の孤立と極度の困窮状況の回避を目指す。   | ¥9,200,000 | ¥9,200,000 |
|   |     |                        |                         | 採択<br>理由 | 長年にわたり、組織として困窮者の目線にたった丁寧な支援事業を行っており、今回のコロナ禍において求められている喫緊の支援ニーズに対して、これまでの知見と多種多様な資源、並びに地域の関係機関とのつながりにおいて支える事業がとりわけ重要であるという指摘がありました。  |            |            |
| 7 | 宮城県 | 一般社団法人<br>ワカツク         | 若者・学生の社会的孤立<br>防止プロジェクト | 事業<br>概略 | SOSの声が上がりづらい仙台圏内に居住する大学・専門学校の学生（国籍等を問わず）に対して、同年代の相談役としてピア・サポーターを配置し、情報提供、或いは相談対応を行い、必要に応じて専門家へつなぐ。ピアサポーターを有償とすることで、担い手の生活費の支援も図る他、連携団体と協力して、学生むけの食糧支援も行う。                             | ¥8,900,000 | ¥7,892,000 |
|   |     |                        |                         | 採択<br>理由 | 長年にわたり、組織として地域と大学生等との関係があり、その学生の目線にたった丁寧な実態把握や仙台という地域特性を理解した上で事業が計画されていました。学生同士で支えあうピアサポーターの有効性は国内外で指摘されており、学生サポーターへの丁寧な支援体制を含め必要な支援が行われるものと評価されました。                                  |            |            |
| 8 | 宮城県 | 一般財団法人<br>東北多文化アカデミー   | 地域定住外国籍住民への<br>アウトリーチ   | 事業<br>概略 | 在留外国人と日々のかかわりがある日本語学校として、SOSの声が上がりづらい仙台圏内に在住する外国人留学生向のアウトリーチ型の相談支援を行う。必要に応じて、住居を喪失した個人に対しては、住居・食事・見守り+在留資格に関する相談支援を行い、コロナ禍の孤立と極度の困窮状況を回避を目指す。   | ¥5,400,000 | ¥5,400,000 |
|   |     |                        |                         | 採択<br>理由 | 長年にわたる日本語学校の運営を通じて、私費留学生の実情と留学生を取り巻く法律的、経済的、社会的な諸状況を深く理解し、留学生をとりまく特性を理解した上で事業が計画されていました。公的支援が薄く、言語や慣習の違い等さまざまな障壁がある外国人（私費留学生や帰国困窮者等（元留学生、元技能実習生等）に対象を絞っている点は、必要性・緊急性の面から評価されました。      |            |            |
| 9 | 宮城県 | 一般社団法人<br>マザー・ウイング     | コロナ禍により孤立化する<br>子どもへの支援 | 事業<br>概略 | 経済的困窮や社会的困窮を背景にもつ主として仙台圏の中学・高校生のための相談拠点を設け、相談のきっかけとして食事提供等を通じて、中高生の精神的負担の軽減と孤立予防を目指す。同拠点を活用し、主にシングルマザー家庭への相談と食事提供を図るほか、その食事を、コロナで影響を受けている地元商店街等から購入する取り組みを通じて、間接的な支援も目指す。             | ¥6,400,000 | ¥5,728,000 |
|   |     |                        |                         | 採択<br>理由 | 経済的困窮のみならず、複雑な家庭に身を置く子どもにとって学校と家庭に加え、地域において必要な支援を民間の立場で提供し、相談ができる居場所を確保することは、緊急を要する課題であると指摘されました。これまでも中高生にかかわる事業を展開してきた実績もあり、経済的・社会的な孤立傾向の高い中高生への支援や食事提供、並びに孤立傾向の高い片親への相談事業等が評価されました。 |            |            |

※実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております